

調査の詳細

調査対象

調査対象は、右のリストの35種が該当します。
季節によってみられる生き物も変化します。

推奨調査地域



春

カントウタンポポ
ツバメ
ニホンアカガエル
ニホンカナヘビ
ヒガシニホントカゲ
ホトケノザ
アカミミガメ
オオキンケイギク
カワセミ、コゲラ、コサギ
サシバ、シジュウカラ
ダイゼン
タニシ類(マルタニシ・ヒメタニシ)
ツマグロヒヨウモン
トウキョウダルマガエル
ナガサキアゲハ
ヒバリ、ミヤコドリ、モズ
アカボシゴマダラ
アライグマ
ナガエツルノゲイトウ

夏

セミ類の抜け殻
スズメ
ツバメ
ニホンアカガエル
ニホンカナヘビ
ノコギリクワガタ
ヒガシニホントカゲ
ヤマコリ
アカミミガメ
オオキンケイギク
オニヤンマ
カワセミ
クマゼミ
コゲラ、コサギ
サシバ
シジュウカラ
タニシ類(マルタニシ・ヒメタニシ)
チョウトンボ
ツマグロヒヨウモン
トウキョウダルマガエル
ナガサキアゲハ
ヒバリ
モズ
ヤマトマムシ
アカボシゴマダラ
アライグマ
ナガエツルノゲイトウ

秋

スズキ
ニホンカナヘビ
ヒガシニホントカゲ
アカミミガメ
アカアカネ
カヤネズミ(球巣)
カワセミ、コゲラ、
コサギ、サシバ
シジュウカラ
タニシ類(マルタニシ・
ヒメタニシ)
ツマグロヒヨウモン
ナガサキアゲハ
モズ
アカボシゴマダラ
アライグマ
ナガエツルノゲイトウ

冬

オオカキリの卵
ホトケノザ
カヤネズミ(球巣)
カワセミ、コゲラ
コサギ、シジュウカラ
ダイゼン
ミヤコドリ
モズ
アライグマ

※太字で示したものは、身近な種として皆さんにもなじみの深い種となっています。
気軽に探せるので、ぜひ生き物探しにチャレンジしてください！

調査を推奨する地域を左のイラストに示しています。
地域ごとによっても、見られる生き物が変化します。

公園

ヒガシニホントカゲの
ような爬虫類からカワ
セミ、シジュウカラと
いった鳥類まで幅広く
生息。(水域含む)



カワセミ



ヒガシニホントカゲ

干潟

特に冬、春に鳥
類が多くみら
れる。
また、干潟の生
き物が多く生
息。



ダイゼン



ミヤコドリ

樹林

年間を通して、
数多くの生き物が見られる。
特に植物が多い。



コゲラ



ノコギリクワガタ



サシバ

本調査の目的

本調査は、市の貴重な自然または、希少な保護すべき動植物種や外来種等に関する自然環境状況を把握し、次期生物多様性ふなばし戦略策定に向けた基礎資料とするために実施します。

専門調査について

本調査では、皆様に協力いただく調査のほかにも、委託業者による専門調査を実施しております。調査を行う委託業者は、身分証明書を持参し、腕章をつけて活動します。調査へのご理解ご協力のほどよろしくお願ひします。

< 調査期間 (春季) >
令和7年4月8日(火)
～ 4月25日(金)



環境DNA

現地調査イベントでは環境DNA調査の採水を体験できます。
(春季と夏季で実施)

環境DNAとは…?

水中で生き物から排出された糞や体液などに含まれるDNAを「環境DNA」といいます。
水中に含まれる対象の生き物のDNAの有無から、その水域に生息する生き物を推定できます。
水を汲んで分析するだけで生き物の推定ができることから、
①生き物を傷つけない
②生息環境を損なわない
③現地調査にかかる労力が低減される
といった利点がある手法として知られています。

